

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	各種専門相談事業				
基本目標	安全・安心なまちづくり				
基本施策	消費生活対策の充実				
施策	相談体制の強化を図ります				
所属名	企画部広報広聴課				
事業開始年度	平成17年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市以外で一部可能	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	
非実施影響	一部に障害	緊急性	直ちに発生	実施時効果	一部利便性向上
根拠法令等	・消費者基本法・消費者安全法・消費者安全法施行令・消費者安全法施行規則				
事業概要	<p>各種専門相談の場を提供し、悩みや不安等を解消することで市民生活の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律相談 ・交通事故相談 ・消費生活相談 ・相続、登記相談 ・人権身の上相談 				

2. 主な指標の状況							
項目	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
活動指標	年間相談者数(法律相談)	計画値	336.00	336.00	336.00	0.00	0.00
		実績値	319.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	アンケート回答数	計画値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値	319.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	C：見直し継続
これまでの見直し及び改善の経過	法律相談については月4回の開催から、原則として毎木曜日及び年4回の日曜開催とし、相談機会の増加とともに、閉庁日における相談機会の設置を図った。
活動単位の評価	広報いわたにおける「相談窓口」への相談日の掲載や市ホームページへの相談一覧の掲出とともに、自治会へ相談事例や相談機会についてのリーフレットを回覧するよう依頼し、市民への周知に努めた。
見直しが必要な項目	ホームページや自治会回覧に依らない相談機会周知方法の検討

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	C：見直し継続
活動単位の選択と集中	相談機会の適正な場所及び開催数について検討する。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	法律相談の支所開催への申し込みを敬遠する傾向があることから、開催場所を本庁に集約することで、効率的な相談機会の提供に努める。
活動単位の中長期的な方向性	各種相談を市民の問題解決のきっかけづくりとして周知させるとともに、定期的な相談機会の提供に努める。

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	市政モニター事業				
基本目標	計画推進のために				
基本施策	市民の力を高める				
施策	広聴機能の充実を図ります				
所属名	企画部広報広聴課				
事業開始年度	平成23年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市以外で全て可能	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	その他改善
非実施影響	一定の障害	緊急性	実施理由なし	実施時効果	全体利便性向上
根拠法令等	磐田市市政モニター設置要綱				
事業概要	<p>趣旨 市政に対する市民各層の意見、要望等を把握し、広く市政に反映させ市民参加の活力あるまちづくりを推進する。</p> <p>職務 市政に関するアンケート調査への回答、市政に対する意見及び提案など</p> <p>資格 市内在住の満20歳以上の方</p> <p>定数 100人以内</p> <p>選任 公募（原則）</p> <p>任期 2年間</p> <p>施行 平成23年4月1日</p>				

2. 主な指標の状況							
項目	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
活動指標	インターネットでのモニター登録者数	計画値	60.00	60.00	40.00	0.00	0.00
		実績値	38.00	32.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	アンケート調査及び意見提案から市政への反	計画値	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00
		実績値	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	C：見直し継続
これまでの見直し及び改善の経過	<p>アンケート調査結果の活用（実施部局への聞き取り）</p> <p>効果的なアンケート調査項目の設定、アンケート調査の活用に係る追跡調査</p> <p>モニターの性別、地域別、年齢層などの属性の偏り</p> <p>自主的な応募者数を増やす（多種の広報媒体を活用して募集）</p> <p>について、先進市の状況や考え方の聞き取り調査</p> <p>富士市、富士宮市、八王子市、枚方市（大阪府）に聞き取り調査を実施</p>
活動単位の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター募集に際して、自主的な応募者数が39人、依頼されての応募者数が59人という状況。 ・インターネットによるモニター登録は38件。 ・次回の募集（平成27年度）に際しては、多種の広報媒体を活用して募集していく。 ・アンケート調査の活用に係る追跡調査の実施。
見直しが必要な項目	<p>アンケート調査結果等の施策への反映の仕方</p> <p>モニターの公募方法</p>

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	C：見直し継続
活動単位の選択と集中	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度以降の市政モニター制度のあり方の検討を行う。 課題は、モニターの年齢層や地域性などの属性に偏りがあるとともに、アンケート調査としてはサンプル数が少なく、施策や事業に反映するには信憑性に欠ける。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	<p>市政モニター制度に代わる広聴事業の模索 定期的な市民意識調査の実施など</p> <p>市政モニター制度の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターの公募方法の改善 ホームページ・広報紙等を活用して公募した ・アンケート調査結果等の施策への反映の仕方 検討（先進地参考） ・随時意見への対応 迅速な回答、施策への反映
活動単位の中長期的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度、平成28年度に事業全体の検証作業を実施（調査結果の活用状況、先進地の事業の状況・評価）。 平成27年度、平成28年度は現行のモニター制度を実施（平成28年度に新たに83人のモニターを選任済み）

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	広報いわた発行事業				
基本目標	計画推進のために				
基本施策	市民の力を高める				
施策	分かりやすい情報提供を進めます				
所属名	企画部広報広聴課				
事業開始年度	平成17年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	その他改善
非実施影響	全体に障害	緊急性	一年以内に発生	実施時効果	全体利便性向上
根拠法令等	磐田市広報及び広聴に関する要領、広報いわた掲載基準 磐田市広報モニター設置				
事業概要	広報いわた発行事業 市民の市政への理解を深めると共にまちづくりへの市民参画を図るため、市政情報からまちの話題まで多様な情報をまとめた「広報いわた」を毎月1回発行				

2. 主な指標の状況							
項目		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	広報紙の年間発行部数	計画値	59,000.00	59,000.00	59,000.00	59,000.00	59,000.00
		実績値	59,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標		計画値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	B：現状のまま継続
これまでの見直し及び改善の経過	平成27年4月号で紙面のリニューアルを実施した。市民提供の情報・写真等の活用、魅力ある紙面作りに努めている。
活動単位の評価	紙面をリニューアルし、「市からのお知らせ」の枠組みの変更、「相談窓口」の配置変更、子育て情報の集約、しっぺいの4コマ漫画も掲載するなど、読みやすく親しみが持てる紙面構成とした。
見直しが必要な項目	平成27年4月号でリニューアルを実施したため、不具合が発生した場合は随時見直しを実施する。視覚障害者に対する「声の広報」について引き続き委託化を検討する。

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	次の4項目を意識した上で、子どもから高齢者まで幅広い年代に手にとって読んでもらえるような、親しみのある紙面づくりに努める。1.市民に問題を提起し、読んだ市民が考え、納得し、行動に移すきっかけとなる内容 2.紙面づくりへの市民参加を促進 3.庁内各課の掲載ニーズを踏まえた紙面の有効活用 4.旬な情報・重要な情報を確実に掲載する編集会議の充実
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	平成27年4月に紙面リニューアルを実施したため、大きな変更は考えていないが、読みやすい紙面作成のため、小さなリニューアルを継続して行っていく。
活動単位の中長期的な方向性	「広報いわた」は、平成26年度の市政モニターアンケート結果から9割以上の方に毎月読んでいただいている。今後も市の広報媒体の中心として、リニューアル等を行いながらも継続して発行していく必要がある。

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	広報事務				
基本目標	計画推進のために				
基本施策	市民の力を高める				
施策	分かりやすい情報提供を進めます				
所属名	企画部広報広聴課				
事業開始年度	平成17年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業以外
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	その他改善
非実施影響	全体に障害	緊急性	直ちに発生	実施時効果	安全度向上
根拠法令等	市防災行政無線管理運営規程、防災行政無線の通報に関する要領 市広報及び広聴に関する要綱				
事業概要	市ホームページの運用・管理 パブリシティの獲得（報道機関への情報提供） 市長定例記者会見等の映像配信 同報無線の運用（勤務時間：当室、休日・夜間：中東遠消防指令センター） いわたわとラインによる情報配信（その他のお知らせ） 磐田駅南北自由通路及び豊田町駅のポスター掲示板の活用 磐田駅南北自由通路電子看板による広報 SNSによる広報（ツイッター等） 市政情報コーナーの管理運営（北サービス含む） 広報戦略会議の開催				

2. 主な指標の状況							
	項目	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	ホームページアクセス件数	計画値	4,000.00	4,000.00	4,000.00	0.00	0.00
		実績値	3,918.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	市からの情報の新聞掲載率	計画値	64.00	65.00	0.00	0.00	0.00
		実績値	59.40	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	C：見直し継続
これまでの見直し及び改善の経過	市ホームページの全体的な更新や毎月の定例的な更新は業者委託で実施している。H24から広報戦略会議の開催回数の減らし、広報戦略員の負担を軽減している。パブリシティ活動は、新聞掲載数とテレビ放映数の増のため、取材メモの件数を増やすことに努めている。広報委員への研修も実施している。
活動単位の評価	ホームページ担当者が異動してもスムーズなHPの更新ができるよう、業務の委託化を実施した。広報戦略会議は、イチオシ事業の取りまとめと研修に業務を限定し、負担を軽減した。広報戦略シートは廃止した。パブリシティ活動について、取材メモの件数は、例年どおりの件数が提出されているが、新聞掲載件数・テレビ放映件数は微減の状況。
見直しが必要な項目	ホームページは、スマホ対応などリニューアルの検討と最新のJIS規格に適合しているか確認が必要。また、業者への委託の分量を増やしていく必要がある。広報戦略会議は、イチオシ事業への取り組みにより軌道に乗っているが、引き続き事業の検討が必要。新聞掲載件数を増やすため、別のアプローチが必要になっている。

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	C：見直し継続
活動単位の選択と集中	ホームページはアクセス数が増えているため、市民がアクセスしやすい情報媒体として今後も充実を図っていくとともに、アクセシビリティの改善を行っていく。メディアに対する広報活動は、新聞等への掲載件数を増やすため引き続き力を入れていく。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	ホームページはアクセシビリティの改善とともに、リニューアルの検討していく。映像配信について、撮影する数を増やし充実を図っていく。新聞への掲載件数を増やすため、報道機関への情報提供の方法の検討を行う。
活動単位の中長期的な方向性	ホームページは引き続き充実を図る。展示ブースは、自前での実施期間も増えており、継続して実施する。定例記者会見は、市長から報道機関に政策的な内容を直接伝えられる重要な機会のため、それに関する映像撮影や広報戦略会議等も継続していく。

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	合併10周年記念PR事業				
基本目標	計画推進のために				
基本施策	地域の力を高める				
施策	地域コミュニティの強化を図ります				
所属名	企画部広報広聴課				
事業開始年度		事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業
実施主体	市の実施が義務付	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	改善の余地なし
非実施影響		緊急性		実施時効果	
根拠法令等					
事業概要	合併10周年を迎え、市歌の普及活動や合併10周年記念イベントを通じて、市内外に広く合併10周年のPRを行う。 市歌の普及 NHKのど自慢 出張！なんでも鑑定団in磐田 10年後に届けるメッセージ				

2. 主な指標の状況						
項目	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	計画値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	計画値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	: 新規実施
これまでの見直し及び改善の経過	
活動単位の評価	カウントダウンボードは市民ホールや支所に設置しPRした。 合併10周年記念HPを作製し10周年のPRに努めた。 合併10周年記念で使用するモザイクアートを作製した。 10年後に届けるメッセージ事業は27年度に延期した。
見直しが必要な項目	27年度は合併10周年記念事業として、10年後に届けるメッセージ事業、NHKのど自慢、なんでも鑑定団を実施する。また、市歌の普及に努める。

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	: 新規実施
活動単位の選択と集中	1. NHKのど自慢の開催 2. 出張！なんでも鑑定団in磐田の開催 3. 10年後に届けるメッセージの実施 4. 市歌の普及活動
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	新規事業
活動単位の中長期的な方向性	NHKのど自慢と出張！なんでも鑑定団in磐田は平成27年度に開催し事業終了。 10年後に届けるメッセージの実施は、10年後に予算措置が必要。 市歌の普及活動については、継続的な活動が必要。